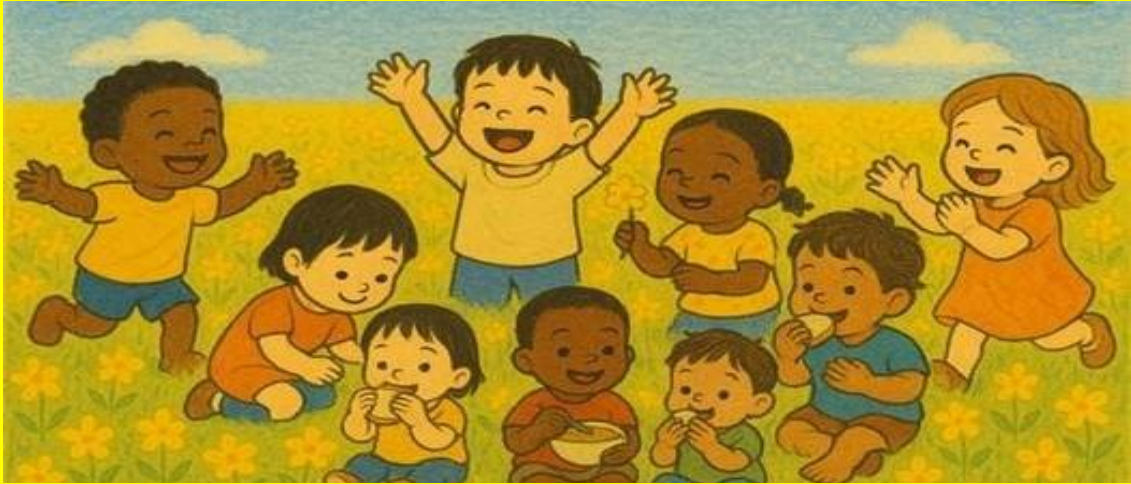


駒井知会、指宿昭一弁護士講演会

「入管を変える」ってどういうこと？

難民・外国人を取り巻く環境を、弁護士たちの現場から考える
～制度を変え、多文化社会を築くために～



「難民って、自分と関係あるの？」 そう思っていたあなたに、知ってほしい現実があります。
弁護士として制度を問い、裁判を起こし、国連にも声を届ける人がいます。そして、外国人と生きる
社会の未来を見つめる人がいます。
社会は、動かす人がいて、変わる。その最前線の話、あなたに聞いてほしい。

6月27日(金) 7:00PM~9:30PM

京都大学吉田キャンパス本部構内総合研究4号館共通1講義室

【第1部: 日本に辿り着いた難民を巡る問題】

駒井知会 弁護士(東京弁護士会)

- ・日本に難民としてやって来た人々の素顔
- ・日本における難民認定に問題はないのか？
- ・2023年入管法改定の与える影響
- ・難民認定申請者と収容／仮放免・監理措置

講師プロフィール



難民認定申請者・仮放免者・被
監理者・被収容者に対する法的
支援を通じて、日本に国際難民
法・国際人権法を根付かせる活
動に勤しむ。

【第2部: 弁護士の視点と担当事件から見た 多文化共生】 指宿昭一 弁護士(東京弁護士会)

- ・入管問題に関わってきた弁護士としての歩み
- ・外国人・移民を支援する裁判や支援活動
- ・「共生」とはなにか―理念ではなく、現実から問う
- ・若者に伝えたい:ともに生きる社会は“今ここ”
から始まる

講師プロフィール



入管・仮放免・収容・難民問題の
現場で長年活動。個別事件を通じ
て、多文化共生のあり方を問う。裁
判と支援の両輪から、社会に働き
かけ続けている。

講師・主催者からのメッセージが下記サイト(右記 QR コード)に掲載されています。

https://docs.google.com/document/d/1tur9WBqJaJluML8uqEuOEK_T0vPg72KrHfVrieAw0VU/edit?usp=sharing

問い合わせ: 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 入管・多文化共生チーム
Mail: immigration_multiculture_team@amnesty.or.jp

共催: TRY~外国人労働者・難民と共に歩む会~
京都大学人文科学研究所藤原辰史研究室

公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 入管・多文化共生チーム

